

業務内容

1 目的

本業務は、水除浜塩田跡の調査区内に堆積する土壌の成因、特に塩田遺構としての客観的な痕跡の抽出を試みるとともに遺構の時代を特定することを目的とする。

2 業務内容

(1) 現地試料の採取

(2) 土壌分析

(ア) 珪藻分析（海藻由来物質の確認）

(イ) 微細物分析（土壌試料洗出し及び分析、洗出し試料同定及び解析）

(ウ) ^{14}C 年代測定（遺構面の上下層から出土の炭化物を測定）

(3) 土壌理化学分析

(ア) 試料調整（採取・乾燥・粉碎・資料情報の記載）

(イ) 粒度分析（垂直方向に粒径組成が異なる堆積構造の数値化）

(ウ) pH 測定（土壌の基本的性質）

(エ) 電気伝導度（水溶性イオンの総量）

(オ) 水溶性イオン（塩分(NaCl , MgCl_2 , MgSO_4 , CaSO_4)の痕跡を探る。)

(カ) 有機炭素（チューリン法による炭素量の確認）

(キ) 以上のほか、現地でクロスナ層の検出等により、分析が追加される場合は別途協議する。

(4) 報告書作成

(ア) 本業務の報告書は、発掘調査報告書中に掲載するため、次の報告書体裁に沿って作成する。特に、図表・写真の添付には、版面の大きさに留意する。なお、この報告書体裁により難しい場合は、別途甲と協議すること。

報告書体裁

区 分		内 容
版組・組型		A 4 版・横組
版面の大きさ		横 16.0 cm, 縦 23.5 cm (うち 0.5 cm はキャプション分)
本文	ポイント	明朝体 10.5 ポイント
	字数	43 字
	行数	35 行
タイトル	ポイント	明朝体 14~16 ポイント
小見出し	ポイント	ゴシック体 10.5 ポイント
註	ポイント	明朝体 9 ポイント

- (イ) 報告書には、本業務の目的・業務内容・作業手順・使用器材・結果を、図表・写真等を用いてわかりやすく記載するとともに、結果を導き出す際に用いた類例・基準・他の研究成果等については、できる限り細かく明示する。
- (ウ) 成果品は、方法と結果を示し、考察を行って報告書を作成する。また、特徴的な鉱物や岩石あるいは微化石類の顕微鏡写真を撮り、写真図版を作成する。
- (エ) 報告書に掲載する写真は、カラー版を使用する。
- (オ) データは、Microsoft 社製「Word」「Excel」で編集が可能であることとする。また、独自で作成した外字は使用しないこととする。

3 分析試料点数

(1) 土壌分析試料

トレンチ 1 か所 4 点程度

※ ^{14}C 年代年代測定については、2 点程度とする。

(2) 土壌理化学分析試料

トレンチ 1 か所 4 点程度

4 成果品

	名 称 等	数 量
1	報告書（製本したもの）	2 部
2	報告書デジタルデータファイル（USBメモリ等へ書き込んだもの）	一式
3	業務実施状況写真 ※ 業務の各段階の作業状況等を詳細にカラーで撮影したものとする。 ※ デジタル画像の場合は、USBメモリ等へ書き込んだものとする。	一式
4	本業務の実施により収集・作成した資料	一式
5	その他、甲の指示したもの	一式